

リオデジャネイロ市長
エドゥアルド・パエス様

国際オリンピック委員会会長
トマス・バック様

最初に、私の盟友であるエドゥアルド・パエス市長に対し、世界最大のスポーツイベントである2016年オリンピックの開催をお祝い申し上げたいと思います。平和首長会議会長として、世界の7,042の加盟都市（リオデジャネイロを含む）とともに、貴台と貴台のチームの皆様に対し、世界中から訪れるアスリートやサポーターを歓迎し、その安全を守るという大きな取り組みのご成功をお祈りします。

ご存知のとおり、オリンピック競技は元来、平和構築の観点から考案されたものでした。真の恒久平和は人類が最も強く希望するものの一つであり続けています。残念ながら、世界が引き続き困難な時代にあることは、昨今のベイルート、ブリュッセル、イスタンブール、パリ、そのほかの都市への攻撃に見て取れる通りであり、これらの都市は現在テロリストの攻撃からの復興の最中にあります。

貴台は、オリンピック競技が平和のためのイベントであることを人々に再び想起させる素晴らしい機会を手にかけていると我々は信じております。

リオデジャネイロで行われるオリンピック開会式は、世界中の何百万の市民が、最初に原爆が投下された場所として記憶する広島での平和記念式典と時を同じくして行われます。正確にいうと、広島で原子爆弾が爆発した8月6日午前8時15分はリオデジャネイロでは8月5日午後8時15分であり、それぞれの行事の最中となります。この偶然は、人類が心の底から平和を希求する思いを再確認するまたとない機会であることを示しています。

私は平和首長会議会長として、オリンピック開会式の参加者すべてに対し、武力紛争やテロのすべての犠牲者に一分間の黙祷を捧げるよう呼びかけること、そして、持続可能な平和の確立に向けて暴力の撲滅を求めて、オリンピック期間中の戦闘休止を復活させることを貴台にご提案したいと思います。ひとときの黙祷の実現に向けて我々が共に尽力し、暴力の撲滅を求めて声を合わせていけるよう希望します。

貴台からのお返事をお待ちしております。

2016年5月20日

広島市長
平和首長会議会長
松井一實